

中一二三

ちはたぶる神代もかす
つと返す

竜田川から流れなるに
久々々々々

水くいるは
軽くとめる
くり返しの
くり返しの

(川面に紅葉が流れていますが)神代の時代にさきこんなことは
聞いたことがありません。竜田川一面に紅葉が散りしいて、
流れる水を鮮やかな紅の色に染めあげるなどということは。
(百人一首 一七番 在原業平朝臣)